

「今、何の病気が流行しているか！」

(川崎市感染症発生動向調査事業—令和4年第39週)の情報提供について

市内の定点医療機関から提供された感染症の患者発生情報をもとに市民提供情報である「今、何の病気が流行しているか！（令和4年第39週）」を作成しましたのでお知らせします。

令和4年第39週（令和4年9月26日から令和4年10月2日まで）

第39週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）手足口病 2）感染性胃腸炎 3）ヘルパンギーナでした。

手足口病の定点当たり患者報告数は2.32人と前週（3.19人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.92人と前週（1.49人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は0.62人と前週（0.57人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

今週のトピックス

“高齢者を対象としたインフルエンザ予防接種を開始しました”について取り上げました。

川崎市では、高齢者の方を対象に、令和4年10月1日からインフルエンザの定期予防接種を開始しました。新型コロナウイルス感染症の流行開始以来、インフルエンザの報告数は激減していましたが、今年は8月末以降、少数ですが報告されています。同様に、過去2年間インフルエンザの流行がみられなかった南半球のオーストラリアでは、令和4年5月から6月にかけて報告数が急増しました。今後、我が国でも同じような流行がみられる可能性があります。

インフルエンザの流行に備え、今年度に限り、高齢者の予防接種費用の自己負担分が助成され、無料で予防接種を受けることができます。対象の方は接種を御検討ください。

川崎市感染症発生動向調査事業では、感染症のまん延の防止と市民の健康の保持に寄与するべく、市内の定点医療機関（小児科定点37施設、インフルエンザ定点61施設、眼科定点9施設、基幹定点2施設）等から報告された感染症発生状況をもとに集計を行い、市内の感染症の発生状況の正確な把握と分析、市民や医療関係者への情報の提供を行っています。

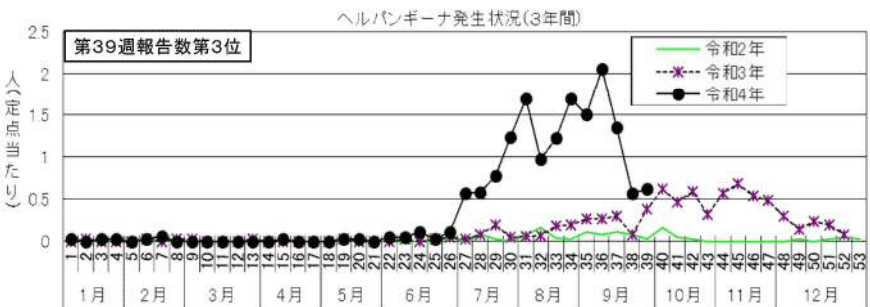
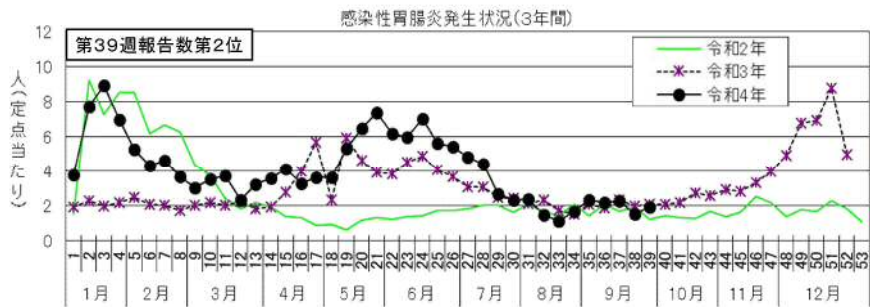
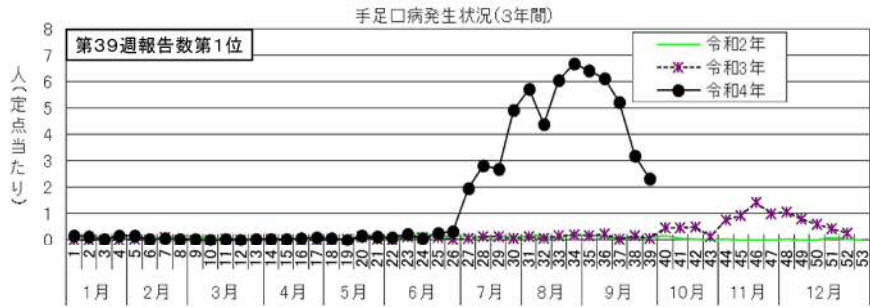
連絡先 川崎市健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当 野木
電話044（200）2446
川崎市健康安全研究所 三崎
電話044（276）8250

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年9月26日（月）～令和4年10月2日（日）〔令和4年第39週〕の感染症発生状況

第39週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 手足口病 2) 感染性胃腸炎 3) ヘルパンギーナでした。
 手足口病の定点当たり患者報告数は2.32人と前週（3.19人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.92人と前週（1.49人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は0.62人と前週（0.57人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



高齢者を対象としたインフルエンザ予防接種を開始しました

川崎市では、高齢者の方を対象に、令和4年10月1日からインフルエンザの定期予防接種を開始しました。新型コロナウイルス感染症の流行開始以来、インフルエンザの報告数は激減していましたが、今年は8月末以降、少数ですが報告されています。同様に、過去2年間インフルエンザの流行がみられなかった南半球のオーストラリアでは、令和4年5月から6月にかけて報告数が急増しました。今後、我が国でも同じような流行がみられる可能性があります。

インフルエンザの流行に備え、今年度に限り、高齢者の予防接種費用の自己負担分が助成され、無料で予防接種を受けることができます。対象の方は接種を御検討ください。

高齢者を対象とした定期のインフルエンザ予防接種

◆対象者

川崎市内に住民登録のある方で、次の①又は②にあてはまる方

- ① 接種日に65歳以上の方
- ② 接種日に60歳～65歳未満の方
 - ・心臓、腎臓、呼吸器の機能障害（障害1級程度）のある方
 - ・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害（障害1級程度）のある方

◆実施期間と回数

令和4年10月1日～12月31日の間に1回

◆接種を受けられる場所

川崎市予防接種個別協力医療機関
 （市が指定した市内約680か所の医療機関）
 接種の際は、住所及び年齢を確認できるもの（健康保険証等）をお持ちください。

川崎市におけるインフルエンザ発生状況(5年間)

